

当科における顎顔面骨折の臨床統計

東京歯科大学市川総合病院歯科・口腔外科では「当科における顎顔面骨折の臨床統計」という臨床研究を行っております。この研究は、当科における顎顔面外傷の特徴を調べることを主な目的としています。そのため、過去に顎顔面外傷の治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきますのでご協力をお願いします。

1. 研究の対象

本研究は平成23年1月1日から平成29年3月31日までの期間に顎顔面骨折（歯槽骨骨折、病的骨折を除く）にて歯科・口腔外科を受診した患者様を対象としています。

2. 研究目的・方法

今回、今後の診療および患者QOLの向上に寄与することを目的に平成23年1月1日から平成29年3月31日までの期間に顎顔面骨折にて歯科・口腔外科を受診した患者様を対象とした研究を実施致します。調査は、過去の診療録より性別、年齢、既往歴、受傷原因、受傷部位、治療法を後方視的に調査致し、高齢者群と非高齢者群に分類、検討致します。今回得られた結果は、個人が特定されるような事や、御本人にあらためて負担をお願いすることはありません。また、研究結果は学術雑誌に発表する予定であり、発表に際しては個人を特定できない形と致します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：性別、年齢、既往歴、受傷原因、受傷部位、治療法

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも今後診療を含めて、不利益になるようなことはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

千葉県市川市菅野 5-11-13

東京歯科大学市川総合病院 オーラルメディシン・口腔外科学講座 野村 武史

電話番号：047-322-0151

研究責任者：

東京歯科大学市川総合病院 オーラルメディシン・口腔外科学講座 大村 雄介

※本研究は、東京歯科大学市川総合病院倫理審査委員会の審査を経て、病院長の許可を得ています。